

米の山病院総合診療専門研修プログラム

理念

米の山病院は、福岡県大牟田市に位置し人口 11.5 万、高齢化率約 36.7%と全国でトップレベルの地域に位置する病院です。また近年は人口減少に伴う医療過疎地域に認定されており、当市の医療情勢は深刻なものと言えます。地域には、独居老人、認知症患者が多くおられ、病院のみならず、診療所、訪問看護、小規模な機能施設などを連携して医療、介護を展開する必要があります。米の山病院は各種、事業所と連携を取り、24時間対応で救急患者を受け入れています。また、病院内だけにとどまらず、患者会活動、地域へ出での健康相談なども積極的に実施しています。病院は、一般病床、回復期リハビリ病床を有しています。患者層としては高齢者が大半を占め、一人の患者に多様な疾患を合併しています。当院ではそのような患者に対して、内科医師はもちろんのこと、各診療科の医師で合同カンファレンスを開き、多角的な面から治療方針などカンファレンスをします。

また、当院での研修で内科、および総合診療における診療技術はもちろんのこと、患者の社会的な背景にも目を向け、幅広い問題に対応できる知識、技術の習得、患者や家族の気持ちに寄り添うことができる医師を目標としています。現在、地域の病院や診療所の医師が、かかりつけ医として地域医療を支えています。今後の日本社会の急速な高齢化等を踏まえると、現在の 30 年後の高齢化率である大牟田地区において、総合診療専門研修を行うことは、健康にかかわる問題について適切な初期対応等を行うことができる、総合的な診療能力を身に着けることができます。

総合診療専門医の養成は以下の 3 つの理念がモデルプログラムにおいても触れられています。

- (1) 総合診療専門医の質の向上を図り、以て、国民の健康・福祉に貢献することを第一の目的とする。
- (2) 地域で活躍する総合診療専門医が、誇りをもって診療等に従事できる専門医資格とする。特に、これから、総合診療専門医資格の取得を目指す若手医師にとって、夢と希望を与える制度となることを目指す。
- (3) 我が国の今後の医療提供体制の構築に資する制度とする。

こうした制度の理念を基に、米の山病院総合診療専門研修プログラム（以下、本研修 PG）は、病院、診療所などで活躍する高い診断・治療能力はもとより、患者の社会的背景まで踏まえて科学的に考察することのできるプライマリな総合診療専門医を養成するために、ER型救急や急性期専門各科を有する地域拠点病院のなかで、専門各科と協働し全人的医療を展開しつつ、自らのキャリアパスの形成や地域医療に携わる実力を身につけていくことを目的として創設されました。その際、前述したとおり、超高齢化の大牟田市、そこに居住

する地域住民、各種団体、ボランティアや当院の全職員などの理解と協力のもとで研修できる環境を整えています。

使命

専攻医は、日常遭遇する疾病と傷害等に対して適切な初期対応と必要に応じた継続的な診療を提供するとともに、全人的医療を実践する能力を涵養します。大牟田市の地域に寄り添う疾病の予防、社会的責任を果たすために、無差別・平等の医療・介護・福祉を担い創造しうる医師、基本的人権を尊重できる総合的視点を持つ医師、地域に求められる役割に応じてチーム医療を実践できる医師を目指します。そのために「地域に出て、地域に学び、育つ」地域基盤型教育を重視し、ヘルスプロモーション活動など地域の人々との協力共同の場を研修に生かすことにより、患者の社会的背景を含めて、患者全体をとらえる医療・社会的問題に対する科学的視点、変革の視点を身につけることを目指します。

また総合診療専門医になることで、以下の機能を果たすことを目指します。

- 1) 地域を支える診療所や病院においては、他の領域別専門医、一般の医師、歯科医師、医療や健康に関わるその他職種等と連携して、地域の保健・医療・介護・福祉等の様々な分野におけるリーダーシップを発揮しつつ、多様な医療サービス（在宅医療、緩和ケア、高齢者ケア、等を含む）を包括的かつ柔軟に提供する。
- 2) 総合診療部門を有する病院においては、臓器別でない病棟診療（高齢入院患者や心理・社会・倫理的問題を含む複数の健康問題を抱える患者の包括ケア、癌・非癌患者の緩和ケア等）と臓器別でない外来診療（救急や複数の健康問題をもつ患者への包括的ケア）を提供する。

研修 PG においては各医療機関で指導医が専攻医の教育・指導にあたります。しかし、専攻医自身も主体的に学ぶ姿勢をもつことが大切です。総合診療専門医は医師としての倫理観や説明責任はもちろんのこと、総合診療医としての専門性を自覚しながら日々の診療にあたりると同時に、ワークライフバランスを保ちつつも自己研鑽を欠かさず、教育や学術活動に積極的に携わることが求められます。なので、専攻医として各自研修することに加え、初期研修医や病院実習に来た医学生、また後輩の専攻医へ指導する経験も主体的にしていくことが求められます。

特性

本研修 PG での研修後に皆さんは標準的な医療を安全に提供し、疾病の予防に努めるとともに将来の医療の発展に貢献できる総合診療専門医となります。

本研修 PG では、①総合診療専門研修 I（外来診療・在宅医療中心）、②総合診療専門研修 II（病棟診療、救急診療中心）、③内科、④小児科、⑤救急科の 5 つの必須診療科と選択診療科で 3 年間の研修を行います。このことにより、1. 人間中心の医療・ケア、2. 包括的統合アプローチ、3. 連携重視のマネジメント、4. 地域志向アプローチ、5. 公益に資す

る職業規範、6. 診療の場の多様性という総合診療専門医に欠かせない6つを効果的に修得することが可能になります。

本研修 PG は専門研修基幹施設（千鳥橋病院、大手町病院、飯塚病院、久留米大学医療センター、鹿児島生協病院）と専門研修連携施設（神野診療所、みさき病院、まつおレディースクリニック、菊陽病院）の施設群で行われ、それぞれの特徴を生かした症例や技能を広く、専門的に学ぶことができます。また、上記必須研修に加え、産婦人科や精神科、整形外科や外科などのかかわりの深い分野を選択研修として選択できます。専攻医の希望で、選択研修は選択することができます。

募集専攻医数

総合診療プログラム専攻医募集数：2名

研修プログラム例

スタンダードコース

		1年目			2年目			3年目		
総合診療Ⅰ	みさき病院									
総合診療Ⅱ	米の山病院									
内科	飯塚病院									
小児科	千鳥橋病院									
救急科	大手町病院									

総診Ⅱ内科平行研修コース

		1年目			2年目			3年目		
総合診療Ⅰ	神野診療所									
総合診療Ⅱ	米の山病院									
内科										
小児科	久留米医療センター									
救急科	千鳥橋病院									
選択(精神科)	菊陽病院									

九州各地コース

		1年目			2年目			3年目		
総合診療Ⅰ	神野診療所									
総合診療Ⅱ	米の山病院									
内科	久留米大学医療センター									
小児科	鹿児島生協病院									
救急科	飯塚病院									